

イノシシ捕獲に係る取組状況について

1 田原市及び豊橋市における野生イノシシの捕獲頭数について（表 1、図 1）

2023年度12月末時点の野生イノシシの捕獲頭数は、豊橋市224頭（前年度同時期：130頭）、田原市335頭（同：156頭）となっている。

豊橋市、田原市ともに前年度と比べ増加しており、2021年度以降、捕獲頭数は増加傾向にある。

また、県が田原市内で実施している指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲頭数は、15頭（同：47頭）となっている。

表 1 野生イノシシの捕獲頭数の経年推移（頭）

市／年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023*	
豊橋市	297	268	165	121	210	224	
内訳	有害	251	220	160	111	198	224
	狩猟	46	48	5	10	12	-
田原市	277	497	270	125	212	335	
内訳	有害	271	492	204	87	160	320
	指定管理	未実施	未実施	66	35	47	15
	狩猟	6	5	0	3	5	-
計	574	765	435	246	422	559	

※2023年度は12月末時点の速報値

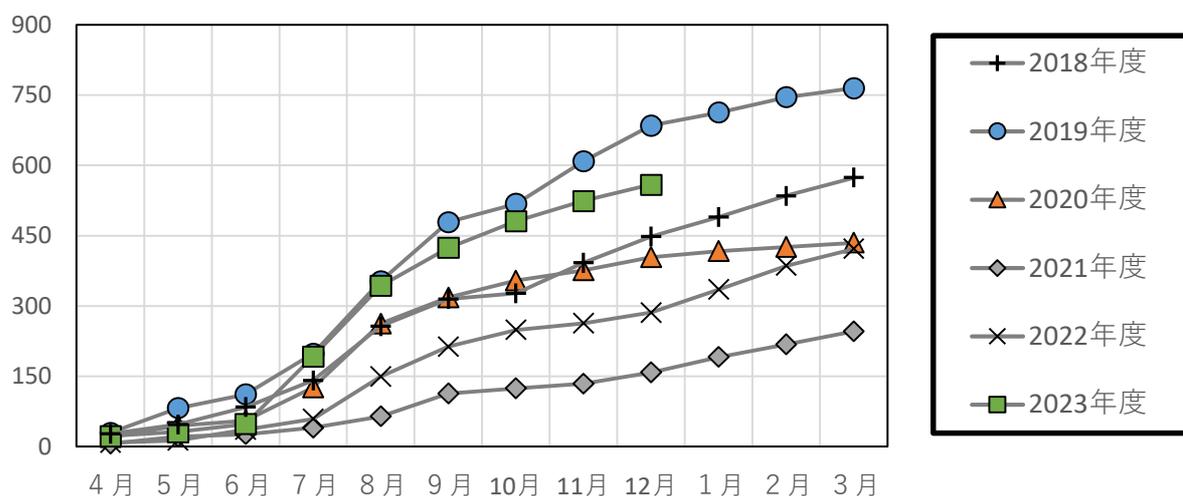


図 1 田原市及び豊橋市における野生イノシシ捕獲頭数の経年推移
(捕獲数の月別積上推移)

2 30kg 以上のメスの捕獲効率について（資料 1－2）

豊橋市及び田原市において 2023 年度に捕獲された野生イノシシのうち、妊娠可能と考えられる 30kg 以上のメスの毎月の捕獲頭数について、わな種別の捕獲頭数と全体の捕獲数に占める割合をとりまとめた。

2023 年度は、12 月末時点で 30kg 以上のメスの捕獲効率が 2022 年度とほぼ同様に推移している。また、7～9 月にかけて、捕獲頭数が一旦減少していた 2020 年度以降で最も多く 30kg 以上のメスが捕獲されている。

例年、1～3 月は 30kg 以上のメスの捕獲効率、捕獲頭数がともに高くなる時期であり、およそ半数がくくりわなの捕獲によるものである。このため、1～3 月にくくりわなの設置数を増やす事で、春期の再繁殖を抑える効果が期待できると考えられる。

3 その他（資料 1－3）

県内の野生イノシシの豚熱陽性個体の確認状況について、2023 年度は 1 月 15 日時点で 17 件と、2022 年度の 18 件（前年度同時期、通年では 28 件）と比べ、ほぼ同数となっている。特に、岐阜県と隣接する犬山市、春日井市、瀬戸市にかけて複数確認されており、これまで豚熱陽性個体が確認されていなかった小牧市においても野生イノシシから豚熱陽性が確認された。

県内の地域ごとの捕獲頭数について、東三河地域を除き、2022 年度と比べ減少傾向にある。東三河地域については、過去 3 ヶ年度と比べ捕獲頭数が増加傾向にあり、特に田原市において顕著である。